

かお・人インタビュー

2017年7月11日(火)

一般社団法人 日本アンカー協会 九州支部

武末勝司支部長に聞く

(所属 日本基礎技術株式会社 九州支店)



温厚そうな人柄で、語る口調も優しい。今年4月に日本基礎技術(株)九州支店の技術部長から支店長となり、日本アンカー協会九州支部の前任の工藤清秋支部長の後任として暫定的に新支部長に就任し、先の平成29年度定時総会で正式に選任された。日本は国土の大半が急峻な地形、脆弱な地質であり、台風・地震・豪雨など自然災害も多く、安全で安心な国土づくりが求められている。九州地方でも昨年の熊本地震や九州北部豪雨などがあり、防災・減災対策の重要性が高まっている。同協会は防災工事や構造物基礎工事の専門的な技術集団として国土保全に寄与することを目的としている。武末勝司支部長に支部の現状や今後の展望について話を聞いた。

1. 日本アンカー協会九州支部紹介

当協会は、防災工事・構造物基礎工事などにおけるグラウンドアンカー工事の社会的使命を認識し、会員相互の協力によってグラウンドアンカー工法に関する技術の向上と促進及び普及を図り、国土の保全を通して国民生活の向上に寄与することを目的としています。

昭和50年4月に発足して以来、平成10年4月には社団法人としての認可を受け、これに伴い平成11

年2月に社団法人日本アンカー協会九州支部が設立されました。現在、九州支部正会員32社・賛助会員5社をもって構成されております。

協会活動を通じて、アンカー工法を一般の方々に身近に感じてもらう取り組みを進め、アンカー工法が社会に貢献していることをアピールするとともに、技術者らのレベルアップとステータスアップを目指していきます。



平成28年度の
グラウンドアンカー
施工士検定試験

2. 平成29年度事業計画の取り組み

平成29年度の主な事業計画は以下の通りです。

① 発注官庁への要望活動および広報活動

グラウンドアンカー緊張管理サービスについて
国地方自治体へのグラウンドアンカー施工士の
活用について グラウンドアンカー施工士資格
取得の推奨
各種技術資料の配布

② 技術講習会およびグラウンドアンカー施工 士検定試験の実施

技術講習会 平成29年 9月16日(土) 電気ビル
検定試験 平成29年10月14日(土)
天神クリスタルビル

③ 現場見学会および安全パトロールの実施

平成29年10～11月頃予定



平成29年度 定時総会

3. アンカー工法（グラウンドアンカー施工）の紹介

グラウンドアンカー工法は、削孔した地盤にアンカー一体を設置し、グラウト材を注入して地表の構造物と緊結させることで発生する引張力・摩擦抵抗力により、地盤や構造物の安定化、補強を図るものです。斜面や法面の安定はもとより、構造物の浮き上がりや転倒の防止、耐震補強、土留めの支保工など、土木・建築分野で幅広く利用されています。

また、急峻で複雑な地形が多く、地震や豪雨などの自然災害による被害が大きくなる可能性が高い我が国において、グラウンドアンカー工法は必要不可欠な技術であり、国土強靱化、防災、減災、社会インフラの補修・補強による長寿命化など、社会全体の喫緊の課題に対応する技術であります。

4. 担い手（技術者）の人材確保・育成について

需要に応えるためには労働力の確保が重要課題の一つです。当協会は、グラウンドアンカー施工士検定試験や定期的に行うグラウンドアンカー施工技術講習会を通じて、専門技術を持った技術者の育成に努めていますが、技術者の高齢化も進んでおり、このままでは人材が不足してしまう恐れがあります。

新たな人材を獲得するには、技術者の負担を減らす必要があります。すでに、大型部材を使う工事については機械で補助する体制を取っており、軽量パイプの

導入を検討するなど技術者の負担軽減への取り組みを進めています。

仕事量を確保し、労働者が働き続けていたいと感じる業界にしていくことも大切です。そうすれば、人材も集まります。アンカー施工は、主に地すべりや急傾斜、道路法面などの陸上部の法面構造物で使用され、近年は港湾構造物の護岸などの耐震補強への導入実績が増加していますが、当協会は適用範囲をさらに広げて需要を増やしていきたいと考えています。



永久アンカー工法



仮設アンカー工法



高被圧水下アンカー工法

5. 貴団体の現状と今後の見通しについて（予算、事業量、受注状況等）

全国会員企業の施工実績は、年間の件数で約1300～400件の水準で推移しています。

過去5年間は概ね横ばいですが、近年はゲリラ的な自然災害の多発に伴って危険個所にグラウンドアンカーを設置する工事が増えています。また、護岸の耐震補強工事への導入実績も徐々に伸びていますので、今後は新たな需要の伸びを期待しています。

既設アンカーの維持管理工事については、新設工事と比較するとまだまだ少ない数値ですが、年間の点検調査は約1300本に上っており、いずれは国内にある延長約3万km以上のグラウンドアンカーの老朽化対策に着手しなければなりません。徐々に維持管理工事の発注量も増えるの見込んでいます。

6. 貴団体の課題と問題点及び発注行政に望むこと

現在まで、国内のアンカー累計施工延長は約3万キロに達し、アンカーの維持管理はとても重要な課題であると認識しています。現在のアンカーは防食対策が万全ですが、平成元年以前に設置されたアンカーは「二重防食」を意識していなかったことから防食対策が現在と比べて充分ではありませんでした。今後、全国に設置されたアンカーを点検・調査して、その機能が果たされているかどうかを確認する必要があり、問題があるアンカーについては、きちんと対策し、安全を期すことが望まれます。

維持管理方法の統一化も重要です。当協会では、土木研究所との共同研究の成果を反映させ、道路路面工の老朽化、劣化変状などの目視、打音、触診による点検などを示した「グラウンドアンカー維持管理マニュアル」を取りまとめ、維持管理方法の統一化を図りました。発注者側にも、こうした経緯を踏まえてもらい、グラウンドアンカー工の健全化に取り組んでいきたいと考えています。

7. 趣味・特技などは

特にはないですが、強いて挙げればゴルフですかね。同業者や仲間と月に2～3回程度、営業ゴルフに興じています。



【プロフィール】

出身地：福岡県柳川市

生年月日：昭和43年12月

会社名：日本基礎技術株式会社 九州支店 支店長